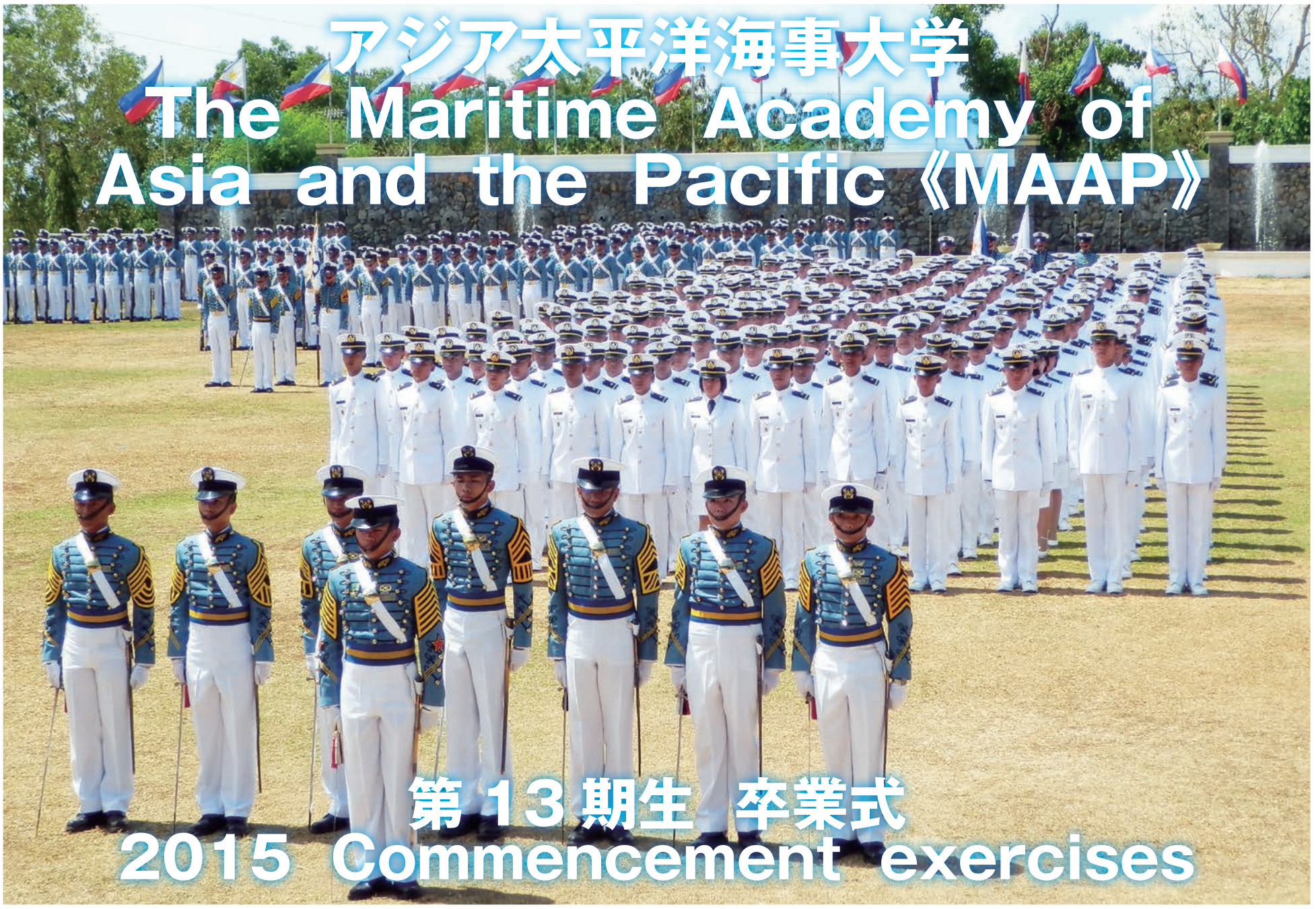
DAILY JAPAN SHIPPING NEWS

日刊ジャパンシッピングニュース
特集【アジア　レポート】

K.K. 海運経済新聞社
〒104-0032　東京都中央区八丁堀3-6-1（京橋長岡ビル）
ＴＥＬ０３（３５５２）７５９６（代表）
ＦＡＸ０３（３５５２）７５９８
日刊（土日祭休刊）購読料１ヵ月　〒共14,000円
昭和25年5月10日　第３種郵便物認可
昭和32年8月31日　国鉄東局特別承認新聞紙第119号
振替口座　東京１４９０８１



森田保己 JSU 組合長「船員職業は国際物流の要　世界経済を支える」
255 名が卒業　日本商船隊には 108 名が乗船へ

フィリピンの優秀な新人船舶職員 108 名が今年も新たに日本商船隊に乗り組んでいく。

日比の堅固な協力の証　『JSU － IMMAJ キャンパス』

※　※

日本とフィリピンの国際船員労使４者（全日本海員組合 /JSU、国際船員労務協会 /IMMAJ、比国船舶職員部員組合 /AMOSUP、比国船員配乗会社団体 /PJMCC）および、欧州の船員雇用者団体「International Maritime Employers' Council, Ltd/インターナショナル・マリタイム・エンプロイヤーズ・カウンシル（国際海事雇用者協議会 /IMEC）」等、日欧比の国際船員労使らをボードメンバーに、AMOSUP が運営主体となる、比国の『アジア太平洋海事大学（Maritime Academy of Asia And the Pacific/MAAP）』が 2015 年 5 月 23 日、比国バターン州マリベレス市 / カマヤ・ポイントの現地で第 13 回卒業式を挙行した。

「船員教育・訓練」の側面から日本と比国との強固な連携・協力を形にした、日本商船隊キャデット（幹部候補生）の専用校舎『JSU － IMMAJ キャンパス』から巣立つ卒業生ら 108 名（航海士 62 名、機関士 46 名）を含む、第 13 期卒業生 / 計 255 名（同 130 名、同 125 名）が今年もまた、世界の海へと羽ばたいた。

MAAP　コレヒドール島を臨む
バターン半島先端の丘に建つ